元スケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日程** | **内容（ システム ・ 医療 ）** | |
| 10/18～10/29 | 環境作成・フレームワーク理解 | レイアウト作成 |
| 11/ 1～11/10 | 内部設計 | 環境作成・フレームワーク理解 |
| 11/11～11/30 | アプリ開発 | |
| 12/ 1～12/17 | 開発・結合（仮完成） | |
| 1月 から 2月 | 資料作作成、発表練習、手直し、機能追加 | |

変更後

|  |  |
| --- | --- |
| **日程** | **内容（ システム ）** |
| 10/18～11/5 | 環境作成・開発準備 |
| 11/ 8～11/9 | 内部設計・実装機能話し合い |
| 11/10～11/30 | アプリ開発 |
| 12/ 1～12/17 | 開発・結合（仮完成） |
| 1月 から 2月 | 資料作作成、発表練習、手直し、機能追加 |

|  |  |
| --- | --- |
| **日程** | **内容（ 医療 ）** |
| 10/18～11/5 | レイアウト作成 |
| 11/ 9～11/9 | 内部設計・実装機能話し合い |
| 11/10～11/17 | 環境作成・開発準備 |
| 11/18～11/30 | アプリ開発 |
| 12/ 1～12/17 | 開発・結合（仮完成） |
| 1月 から 2月 | 資料作作成、発表練習、手直し、機能追加 |

全体スケジュールをブレイクダウンした終了までの計画

再策定したスケジュール（スケジュールを変更する際に元のスケジュールを消さないこと）

上に記載

現在の実績

環境作成終了、Djangoログイン機能のテスト、画面レイアウト4/9終了、論文をレイアウトにどう適応するかの考察が90％ほどできている。

誰がどの作業を担当する予定なのか

医療側のレイアウト作成以外は、基本的に上のスケジュールで時期は異なりますが、全員同じ作業をします。詳細内容でしたらまだ決まっていません。

誰がどの作業を現在担当しているのか

青木：環境作成で理解したことの資料作成

渡部くん・澤野くん：開発準備としてアプリ開発の理解と資料残し

清さん：画面レイアウトをエクセルで作成

長井さん：若年層のVDT作業・可視化関連の論文を画面レイアウトにどう適応するかの考察と、出来上がった画面レイアウトに順次適応させていく。

複数人で作業する場合はその作業の責任者は誰か

環境作成：青木

開発準備：渡部くん

画面レイアウト：清さん

レイアウト論文適応：長井さん

各作業の実施する概要

環境作成：

VSCodeでDjangoをインストールし、Pythonの仮想環境のバージョン合わせと、Gitとの連携方法をブランチ含め理解する。

開発準備：

実際にアプリ開発に入っても問題がないように、試しでアプリを作成し、Djangoの流れなどをコードリーディングで理解し、理解したことを随時資料に残す。

レイアウト作成：

エクセルに必要となる画面レイアウトを作成してもらい、そこに若年層のVDT作業・可視化関連の論文を適応させてもらう。

内部設計：

必要となるＤＢやシステム内部の流れをどのようにするか決める。

実装機能話し合い：

スケジュールがずれても大丈夫なように、必要最低限の機能を選定するとともに、後回しにしていい内容などを仕分ける。

アプリ開発：

実際に卒研のアプリを開発する。

開発・結合(仮完成)：

開発をするとともに、一度完成を第一優先に結合し、アプリ作成＆デバッグ作業＆漏れている機能などを探し、仮完成させる。

資料作成、発表練習、手直し、機能追加：

研究対象の評価と発表資料の作成、発表の練習、その裏でアプリの完成度を高め、時間が余るのであれば、機能の追加を行う。